

選ぶについて学ぼう

私たちの周りには、いろいろなお店があり、選びきれないほど多くの商品があります。私たちは、たくさんあるお店、商品の中から欲しいものを選び、買い物をしています。本当に自分にとって必要なもの、目的に合った商品を選んで買い物をしているでしょうか。



解説

新商品が発売されたり、宣伝や広告を目にしたりすると、本当は必要がないのに買いたくなってしまいます。商品を選ぶ時には、まず「今の自分にとって必要か」を考えなくてはなりません。必要だとしたら、適正な価格か、目的に合ったものか、安心して使うことができるものか、さらに環境に気を配っているかなど、次のポイントを考えることを習慣にしましょう。

商品を選ぶ4つのポイント

価格

- 商品に見合った適正な値段か。
- あらかじめ考えていた予算内なのか。
- 同じ商品でも店や期間によって価格が違うことはないか。



品質・機能・安全性

- 材料や素材、品質は良いか。
- 目的に合った機能、サイズかどうか。
- 使う(食べる)にあたっては安全かどうか。
- すぐに壊れたりしないかどうか。



保証・アフターサービス

- 保証書や取扱説明書(使用マニュアル)があるか。
- アフターサービスはあるか。
- 補償の期間や内容はしっかりしているか。
- 補償の内容は無料か有料か。



環境

- 環境に気を配った材料を使っているか。
- 資源やエネルギーの節約に役立つかどうか。
- 使い終わった後にリサイクルはできるか。
- 包装がだげさでないか。



マークを目安に商品を選ぶ

通販カタログやインターネットを使ってショッピングする場合、「ジャドママーク」やオンラインマークなどのある業者、カタログやショッピングサイトで商品を選ぶようにしましょう。

ジャドママーク JADMA

公益社団法人日本通信販売協会 社団法人日本通信販売協会正会員のマーク。会員(業者)は協会の取り決めや法律を守って取引(商売)をしています。

このようなポイントを理解するためには、実際にお店で商品を見る前に、情報を集めて整理しておくことが便利です。売り手からの情報は良い点だけを強調していることもあるので、より多くの情報を集め、じっくり考える習慣を付けましょう。情報を集めることを選ぶことは消費者の責任・権利です。

考動ポイント!

商品を選ぶその前に、情報を集め、考える習慣を身につけよう。

情報を集めるには、新聞や雑誌の記事や広告、テレビコマーシャル、インターネットでの検索、家族や友だちの口コミ、パンフレットやカタログなどが活用できます。また、販売方法や商品について表示やマークも大切な情報です。それらの意味を理解することで、より多くの正しい情報を集めることができます。